

総代会特別号 /



02 | 特集

第25回通常総代会

組合員との関係を 強化し、豊かな 暮らしと活力ある 地域社会の実現へ



08 | 田植えレポート2025

田植え レポート2025

紹介するのはこちらの品種！ /

コ・ノ・ホ・シ

兵庫県とJAグループが共同開発した極早生で、食味に優れた高温耐性品種のうるち米です。

山田錦

「酒米の王様」と呼ばれ酒造りに適した米です。今年の1月には、「兵庫の酒米『山田錦』生産システム」が日本農業遺産に認定されました。

5月、6月、みのりエリアの各地で田植えが行われました。その一部を紹介します。



5/26

高温耐性品種「コ・ノ・ホ・シ」の田植え
加東市松沢



6/2

沢の鶴(株)の田植え
三木市吉川町実楽



6/11

西脇地区グリーンクラブ
と三浦酒造(株)の田植え
西脇市平野町



6/16

仁川学院小学校
の田植え
加東市岡本



6/16

三木・別所山田錦部会と
永井酒造(株)の田植え
三木市別所町花尻



6/19

秋田村と秋田県
酒造組合の田植え
多可町中区間子



6/22

山国山田錦部会と
宮坂醸造(株)の田植え
加東市山国

みのりほっとライン

本店・支店

本店(代表) 0795-42-5141
社支店 0795-42-2016
滝野支店 0795-48-3141
東条支店 0795-47-1155
三木支店 0794-82-3000
吉川支店 0794-72-0005
西脇支店 0795-22-6168
黒田庄支店 0795-28-2111
中町支店 0795-32-2233
加美支店 0795-35-0180
八千代支店 0795-37-0350

営農・生活施設

三木営農経済センター 0794-83-3113
吉川営農経済センター 0794-72-0280
加東営農経済センター 0795-40-0050
東条営農経済センター 0795-47-1191

西脇営農経済センター 0795-22-5955
多可営農経済センター 0795-32-2235
貝原農機センター 0795-42-0515
東条吉川農機センター 0795-47-1515
北はりま農機センター 0795-28-5111
加美農機センター 0795-35-1153
土づくりセンター 0795-28-5535
ふれすこ社店 0795-43-8318
ふれすこ西脇店 0795-23-8318
道の駅みき直売所 0794-86-7010
特産開発センター 0795-28-5155
みのり特産館 0795-28-4445
養鶏事業所 0795-35-1026
加東ケアセンター 0795-42-4583
西脇ケアセンター 0795-22-2711
マイハウスみのり 0795-48-0600
旅行センター 0795-42-5400
東条自動車センター 0795-46-1266

子会社

みのり協同産業(株) 0795-43-8201
(株) 援農みのり 0795-40-0150

緊急時の連絡先(24時間対応)

● 通帳、キャッシュカード等の紛失
JA/バンクキャッシュカード
紛失共同受付センター 0120-689-801
● JAカードの紛失
NICOS盗難紛失受付センター
..... 0120-159-674

● 交通事故 ※

JA共済事故受付センター 0120-258-931

● 車両の故障等緊急対応 ※

JA共済サポートセンター 0120-063-931

※JA自動車共済ご加入の方のみ対象。

● 葬祭

みのり祭典 0120-94-1122

みのり祭典多可営業所 0120-85-4888

JAみのりの経営理念

地域・人・くらしの未来づくり
(ゆたかなみのり)を目指します
<https://www.ja-minori.jp>



JAみのり



第25回通常総代会議案

- 令和6年度貸借対照表、損益計算書及び注記表について
- 「JAバンク基本方針」の変更について
- 第1号議案
令和6年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第2号議案
第9次3力年中期経営計画の設定並びに第8次営農振興計画について
- 第3号議案
令和7年度事業計画の設定について
- 第4号議案
役員の選任について
- 第5号議案
令和7年度理事及び監事の報酬について
- 第6号議案
退任理事及び監事に対する退職慰労金支給及び記念品の贈呈並びに役員退職慰労引当金の取り崩しについて
- 第7号議案
附帯決議

【報告事項】

事業報告

【貸借対照表】 令和7年3月31日現在 (単位:百万円)

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
信用事業資産	449,950	信用事業負債	450,606
共済事業資産	1	共済事業負債	611
経済事業資産	5,197	経済事業負債	3,088
雑資産	505	設備借入金	44
固定資産	4,904	雑負債	956
外部出資	27,692	諸引当金	427
前払年金費用	94	負債合計	455,733
繰延税金資産	208	純資産	
		組合員資本	33,293
		評価・換算差額等	△ 471
資産合計	488,556	純資産合計	32,822
		負債及び純資産の合計	488,556

【損益計算書】 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:百万円)

科目	収益	費用	総利益	科目	金額
信用事業	3,481	542	2,938	事業管理費	4,045
共済事業	1,070	67	1,002	事業利益	922
購買事業	2,094	1,634	460	事業外収益	480
販売事業	304	30	274	事業外費用	23
保管事業	69	29	40	経常利益	1,379
加工事業	1	0	0	特別利益	60
利用事業	588	430	158	特別損失	75
旅行事業	16	0	15	税引前当期利益	1,364
高齢者福祉事業	229	99	130	法人税・住民税等	374
特産開発事業	361	319	41	法人税等調整額	-
養鶏事業	925	841	84	法人税等合計	374
農業経営事業	118	96	22	当期剰余金	989
その他事業	0	0	△ 0	当期首繰越剰余金	444
指導事業	13	71	△ 57	当期末処分剰余金	1,433
事業総利益			5,111		

【剰余金処分額】 令和6年度 (単位:百万円)

科目	金額
I 当期末処分剰余金	1,505
II 剰余金処分額	1,061
1. 利益準備金	240
2. 任意積立金	720
信用事業基盤強化積立金	320
施設整備積立金	210
地域振興・活性化積立金	-
営農利用施設整備積立金	100
記念事業積立金	10
災害等対策積立金	-
農業支援積立金	20
経営基盤強化積立金	60
3. 出資配当金	101
III 次期繰越剰余金	444

※事業報告・事業計画の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

事業計画

【財務計画】 令和8年3月31日現在 (単位:百万円)

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
信用事業資産	450,904	信用事業負債	451,176
共済事業資産	1	共済事業負債	742
経済事業資産	4,861	経済事業負債	3,325
雑資産	444	設備借入金	24
固定資産	5,447	雑負債	650
外部出資	27,703	諸引当金	377
前払年金費用	79	負債合計	456,294
繰延税金資産	180	純資産	
		組合員資本	34,126
		評価・換算差額等	△ 800
資産合計	489,620	純資産合計	33,326
		負債及び純資産の合計	489,620

【損益計画】 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで (単位:百万円)

科目	収益	費用	総利益	科目	金額
信用事業	4,257	1,319	2,937	事業管理費	4,045
共済事業	980	68	911	事業利益	922
購買事業	2,090	1,656	433	事業外収益	480
販売事業	272	32	240	事業外費用	23
保管事業	65	32	33	経常利益	1,379
加工事業	1	1	0	特別利益	60
利用事業	592	425	167	特別損失	75
旅行事業	15	2	13	税引前当期利益	1,364
高齢者福祉事業	235	98	136	法人税・住民税等	374
特産開発事業	389	330	59	法人税等調整額	-
養鶏事業	901	810	91	法人税等合計	374
農業経営事業	99	81	17	当期剰余金	989
その他事業	0	0	△ 0	当期首繰越剰余金	444
指導事業	14	87	△ 72	当期末処分剰余金	1,433
事業総利益			4,968		

組合員との関係を強化し、

豊かな暮らしと

活力ある地域社会の実現へ

6月21日、加東市地域交流センターで第25回通常総代会を開催しました。総代473人が出席(書面議決を含む)。全7議案が審議され、すべて原案どおり承認されました。

第25回
通常総代会

就任のごあいさつ



代表理事組合長
竹内 千博
【前職】
代表理事専務

この度、第25回通常総代会後の理事会におきまして、代表理事組合長に就任いたしました。
JAみのりの発展とJAみのりの経営理念である「地域・人・くらしの未来づくり」に向けて精一杯、努めてまいります。
さて、「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、「食料安全保障の確保」や「農業の持続的な発展」などの基本計画が示されました。改正内容を踏まえ引き続き、地域農業の維持・発展に向けて取り組む所存です。
今年1月には、「兵庫の酒米「山田錦」生産システム」が日本農業遺産に認定されました。この度の認定を機に「山田錦」のブランド力のさらなる向上と次世代への栽培技術の継承に生産者の皆さまとともに取り組んでまいります。
そして、令和7年度は、「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かな暮らしと活力ある地域社会の実現」をテーマとした第9次3力年中期経営計画、第8次営農振興計画の初年度として、新たな一歩を踏み出す年です。役職員が「丸」となっており、一人でも多くの方に「JAに相談すると安心」「JAがあつて良かった」と言っていたらいいように、「地域に根ざすJA」としての使命を果たしてまいります。
組合員・利用者の皆さまには、引き続き「JAみのり」にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

新役員の役職と所属委員会



常勤監事
中塚 吉廣
前職
兵庫県信連職員

監事会

代表監事 翁田 昇二
監事 岡本 秀昭
監事 上月 章市
員外監事 林 善一



金融共済担当
常務理事
池田 康
前職
JAみのり職員

金融共済委員会

委員長 小林 晴利
副委員長 小山 次郎
委員 宮田 俊也
委員 山本 正仁
委員 石田 康治
委員 森脇 登志子



営農経済担当
常務理事
山口 嘉彦
前職
JAみのり職員

営農経済委員会

委員長 戸田 恵造
副委員長 萩原 徳雄
委員 國戸 康則
委員 都倉 明美
委員 畑澤 満
委員 今中 孝介



代表理事専務
谷位 勉
前職
金融共済担当常務

総務委員会

委員長 国井 美博
副委員長 福岡 弘美
委員 宮脇 優
委員 山本 佳史
委員 神戸 靖則
委員 宮崎 延子
委員 棚倉 修規

特産開発事業



令和6年度事業報告

特産開発センターの黒田庄和牛の取扱いは公正市場での競りのほか、パーツ仕入れを実施し、仕入れの効率化を図りました。特産品の販売拠点として「みのり特産館」を新たにオープンし、黒田庄和牛のPRとブランドの確立に努めました。播州百日どりの販売は養鶏事業所と連携し、卸販売、小売販売とも増加に努めました。

令和7年度事業計画

地域団体等との協力により新たな商品開発を行うことで、黒田庄和牛や播州百日どりのさらなるブランド力を高め、供給拡大に取り組みます。みのり特産館は、JAみのりの特産品の発信基地として、組合員、利用者のニーズに応えられるような店舗運営を進め、SNSによる情報発信を積極的に行い、売上高を確保し収支改善並びに経営基盤強化を進めます。

信用事業

令和6年度事業報告

組合員・利用者のニーズに沿った資産運用や資産形成の提案に加え、相続等に関する相談活動にも力を入れて取り組みました。また、多様化するニーズに対応できるよう、専門知識を持つ人材の育成や、店舗での事務手続きの効率化にも取り組み、営業店のシステムを順次強化しました。

令和7年度事業計画

「NISA(少額投資非課税制度)・ローン・年金・相続」を中心に、人生のさまざまな節目に合わせた提案を行い、より安心してお取引いただけるよう努めます。また、店舗にはお客様自身で簡単に操作できるタブレットを導入し、より便利にご利用いただける環境づくりを進めます。

管理部門

令和6年度事業報告

組合員からの要望の多かった物価高騰対策の一助として令和5年度に引き続き、直売所やセンターなどで利用可能な組合員限定「お買い物割引券」を配布しました。広報活動では、メディアミックスによる効果的な広報展開を意識して実施しました。

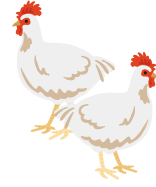
令和7年度事業計画

事務の効率化、事業管理費の見直しを図ることにより、経営の健全性の確保に努めます。広報活動では、SNSやホームページなどを使ったインターネットによる情報発信を積極的に行い、プレスリリースするなどパブリシティにも留意して、メディアミックスによる広報を展開します。

養鶏事業

令和6年度事業報告

播州百日どりのブランドを守るべく「安全・安心な食の提供」を基本に生産、加工、販売に取り組みました。食鳥加工センターについては、施設老朽化対策を計画的に実施しました。



令和7年度事業計画

播州百日どりは、当地域においても代表的な特産品として位置付けています。今後も引き続き「安全・安心」を基本とした生産、加工を行いブランドの確立に取り組みます。



共済事業

令和6年度事業報告

JA共済の「ひと・いえ・くるま」の総合保障の仕組みを活かした家計の見直しを応援するお役立ち情報の提供活動に取り組みました。また、昨今の多様化するニーズに対し、顧客本位のきめ細かい丁寧な相談対応により、組合員・利用者との関係強化に取り組みました。

令和7年度事業計画

組合員を中心とした安心と満足の提供と組合員・利用者本位の業務運営に取り組むとともに、将来にわたり組合員・利用者へ寄り添えるよう、「持続可能な事業基盤の確立」を見据えた普及活動を展開します。

販売事業

令和6年度事業報告

米麦販売では、酒造好適米「山田錦」をはじめとする令和6年度産米の集荷実績が271,729袋となりました。青果物販売は、地域振興作物の生産維持・拡大を図るため、営農指導員が中心となり農家支援に取り組みました。農産物直売所「ふれすこ」では、農家支援を継続し出荷会員拡大に取り組みました。畜産販売は、枝肉価格が令和5年度より高い相場となり、農家所得増大となりました。

令和7年度事業計画

酒造好適米については兵庫県産山田錦の魅力と品質を発信し、酒造会社への販売を促進します。主食用米は全農と連携し、実需者との播種前契約などに基づき有利販売に取り組みます。青果物販売は、農家との接点(関係性)の強化に取り組むことにより、地域に根ざし地域の特色を生かした地域振興作物の生産維持・拡大を支援し、農業者の所得増大に取り組みます。

高齢者福祉事業

令和6年度事業報告

JAの在宅福祉サービス「ケアネット虹」の愛称で、居宅介護支援、訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護の4事業を展開し、事業コンセプトである「やっぱり家がええ」の実現に取り組みました。介護予防や健康づくりにも力を入れ、ロコモ予防講座、男の料理教室、気ままカフェ(若年性認知症カフェ)、オレンジカフェ(介護予防カフェ)を定期開催しました。



令和7年度事業計画

利用者様の尊厳を尊重し、自立に向けた優しさを添えての安心介護で、年をとっても認知症になっても終末期を迎えても、住みなれた家・地域で自分らしい暮らしが継続できるよう保健・医療・福祉・地域と連携し地域包括ケアに取り組みます。

指導事業

令和6年度事業報告

水稻うるち米の高温耐性品種「コ・ノ・ホ・シ」の管内試験栽培に向けた現地試験を実施しました。酒造好適米は継続した定点調査の実施と、品質向上を目的とした実証圃を設置し、気候変動に対応した栽培暦の作成に努めました。



令和7年度事業計画

「第8次営農振興計画」の初年度にあたり、水稻栽培の温暖化・病害虫対策への取り組みと振興作物の生産振興を図ることで、持続可能な農業の実現・農業所得の増大に努めます。また中小規模農家への訪問活動を充実させることで農家との関係強化に取り組みます。



購買事業

令和6年度事業報告



物価高騰を受け、生産資材価格が高止まりしているなか、早期引取りの実施による仕入れ価格の抑制に継続して取り組みました。農機は、多種多様なニーズに応えるべく農機センター毎に展示会を計7回(延べ14日間)開催しました。

令和7年度事業計画

組合員・利用者の農業形態に則した各種助成措置を実施し生産支援を行います。地元の特産品に関連した商品の提供や快適な暮らしを支援する生活に密着したサービスの提供などニーズに沿った商品の提案を実践します。農機は、低価格モデル機種や整備の行き届いた中古農機の提供に努め、低コスト農業への取り組みを支援します。



A 現在、農業関連施設の再編を進めています。第1次構想として西脇多可地区の4ライスセンターの統合を進めています。候補地の造成に遅れが出ています。また第2次構想の高岡ライスセンターと加東カンツリーエレベーターを統合する計画については、本年度から具体的に検討を進めてまいります。

Q ライスセンターが老朽化しているので、整備をお願いします。

A 建物については、解体費用も多額となるため、優先順位を決めて資産の整理に取り組んでいます。また、利活用については、皆さまからの情報提供をお願いします。

Q 遊休資産の今後の取り組みを教えてください。





第8次営農振興計画(令和7年度から令和9年度)

「農業の力で、地域を元気に」～持続可能な地域農業で未来を支える～

「地域農業」を担う管内の生産者と「食と農を基軸として地域に根ざす」JAが、接点(つながり)を増やし、コミュニケーションを重ねることにより、地域が活性化することを目指すため、担い手(大規模)農家はもとより、管内農家の大多数を占める中小規模農家への訪問活動を充実させることで農家との接点(つながり)の強化に取り組みます。

営農振興ビジョン

1 水稻の温暖化による影響対策

近年、温暖化や異常気象の影響で乳白米や背白米などの白未熟粒の発生による品質の低下が問題となっています。管内の水稻栽培において、安定生産とブランド力維持のため栽培技術の確立に取り組みます。



2 地域農業の振興に向けて

農産物直売所を地域農業の振興拠点と捉え、「新たな栽培品目」や「新たな地産地消」の創出に向けた提案などの営農指導活動と情報発信の強化で生産者の所得増大を目指します。各生産部会を中心に営農指導を通じて営農活動の改善に取り組みます。



3 品質向上と効率化に向けた農業関連施設の再編

ライスセンターなど既存の施設について、老朽化が顕著になっていることから、最新の設備を計画的に導入することによって産米の品質向上を図るとともに、利便性と効率的な運営の両立、また、経営基盤の確立を目指して農業関連施設の再編を進めます。



4 コスト・生産効率化による振興作物の拡大

水田の有効活用を推進することにより、農業基盤の強化と農業所得の増大を図ります。その一助として、組合員の営農活動を支援するための「助成事業」と投資コスト抑制のための「野菜生産作業機短期リース事業」を活用した営農指導活動に取り組みます。



第9次3カ年中期経営計画(令和7年度から令和9年度)

協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かな暮らしと活力ある地域社会を実現する

これまで取り組んできた組合員との対話を重視し、「協同活動と総合事業の好循環」を通じて、接点(つながり)づくり・組合員との関係強化・仲間づくりを進めていきます。

経営基本方針

1 新時代に向けた持続可能な農業の実現

生産者と消費者の負託に応える地域農業の振興を図ります。次世代対策運動を継続するとともに、事業継承支援、新規就農者育成への取り組みを強化し、「よりよい営農活動」・「環境調和型農業」の実現に努めます。



2 協同活動と総合事業の好循環

各種相談や営農指導等による対面接点やSNSや関連アプリを活用した非対面接点を通じて組合員との日常的なつながりを強化し、ライフステージに最適なサービスの提案・提供に努めます。



3 担い手訪問や日常的な対話を通じた組織基盤強化

担い手訪問や日常的な対話運動を継続・強化することで、組合員のニーズを的確に把握し、その属性や特性に応じて類型化し、対応することで組織基盤の強化を図ります。

4 JAの将来像の実現に向けた経営基盤強化

将来にわたって地域農業への貢献や事業展開等を示す「JAのあるべき姿」を設定し、その実現に向け、持続可能かつ実効性のある経営計画、経営戦略を策定するとともに、協同組合らしい人づくりに取り組みます。

5 広報戦略の確立と着実な実践

内外に向けた戦略的な情報発信により、協同組合理念やJA事業への理解促進をすすめ、重点取組戦略との相乗効果を高め、JA総合事業や協同活動への好影響につなげていきます。



退任のごあいさつ

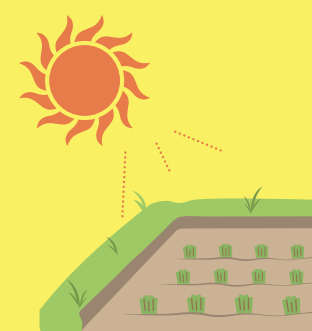


前代表理事組合長
神澤 友重

このたび、6月21日をもちまして、みのに農業協同組合代表理事組合長を退任いたしました。平成28年6月に就任以来、9年間、改めて組合員の皆さまをはじめ、役職員のご協力と関係機関のご指導、諸先輩のご助言などをいただき、大過なく務めを果たすことができましたことを心より感謝とお礼申し上げます。今後とも、変わらぬご厚誼をお願い申し上げます。皆さまの健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

A 農林中央金庫は、戦略的に収支改善に取り組んだ結果、当初の見通しの範囲内での赤字計上となりましたが、自己資本比率は健全な数字を維持しています。また、資本の再構築を行う中で、当JAに要請はありません。

Q 農林中央金庫の決算状況を教えてください。



A 近年、温暖化の影響により、品質の低下、1等級比率の低下が顕著になっていることを受け、兵庫県とJAグループが共同開発した高温耐性品種「コ・ノ・ホシ」を導入しました。令和7年度において管内各地で試験栽培を行い、キヌヒカリ、きぬむすめ、ヒノヒカリの一部を8年産から転換していきます。農家の皆さまには説明資料の配布や栽培研修会の開催などスムーズに品種転換ができるよう地域の実情を踏まえて柔軟に進めてまいります。

Q 新品種「コ・ノ・ホシ」が導入された経緯を教えてください。また、作付け転換はいつからですか。